

施策番号	1802		
施策名	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進		
概要	子どもたちの自尊感情や規範意識を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもたちが社会で自立して生き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる教育活動を通して取り組む。		
担当局・部室	教育委員会・指導部	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関係する 主な分野別計画等			

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート(3・4段階評価で概ね満足とした割合)評価値(%)	b	b	76.6	77.9	100	77.9%	b	1.00	
2 非行防止教室の実施率(%)	a	a	100.0	100.0	70.0	142.9%	a	1.00	
3 新体力テストの結果(項目数)	b	b	28	27	31	87.1%	b	1.00	
4 通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数(人)	a	a	414	429	374	114.7%	a	1.00	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	44 9.6%	174 37.8%	173 37.6%	50 10.9%	19 4.1%	460	b	
2 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	32 7.4%	157 36.1%	183 42.1%	45 10.3%	18 4.1%			435
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						b

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					25年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
<p>(重み付けの理由) 本施策の対象が京都市立学校に在籍する幼児・児童・生徒に限定されており、多くの市民にはその効果が実感されにくいものであるため、客観指標を重視する。</p> <p>(原因分析) 【客観指標】●学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート評価値に関しては、3年連続b評価と安定している。学習支援プログラムの効果的な活用の取組を推進したことによる。 ●非行防止教室の実施率に関しては、3年連続a評価と高い評価で安定している。全小学校・中学校・高等学校で、非行防止教室に取り組んだことによる。 ●新体力テストの結果に関しては、3年連続b評価と安定している。体力向上のための課題を明確にし、運動機会の設定や学習指導の充実に向けて取り組んだことによる。 ●通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数に関しては、3年連続a評価と高い評価で安定している。子どものニーズにあった教育を行うため、LD等の発達障害のある児童生徒が通級による専門的な指導を受けられるよう、就学支援シートなどの取組を充実させたことによる。 【市民の実感】●体験活動の機会に関しては、非行防止教室の取組や防災教育の推進により、b→b評価と安定した評価に繋がった。 ●京都ならではの教育による人材育成に関しては、「どちらとも言えない」と回答した方が多数であったものの、これまでの取組が浸透してきたと考えられ、c→b評価と改善している。</p>						24年度	A

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	私立幼稚園保護者助成	1,345,573	1,732,684	かなり良い	教育委員会
2	小・中学生就学援助費	1,475,228	1,465,187	—	教育委員会
3	国際理解教育・英語教育の推進	267,592	361,566	良い	教育委員会
4	体験活動及び文化活動の推進	22,937	22,376	良い	教育委員会
5	特色ある高校づくり推進事業	202,681	227,757	良い	教育委員会
6	学力向上対策	582,232	872,192	良い	教育委員会
7	安全教育の推進	29,551	28,846	良い	教育委員会
8	体力向上推進	46,032	46,808	良い	教育委員会
9	中学・高校競技力向上	57,481	55,216	良い	教育委員会
10	学校給食の充実	3,011,055	2,971,700	良い	教育委員会
11	健康増進・健全育成の推進	543,350	537,758	かなり良い	教育委員会
12	総合育成支援教育の充実	514,714	545,327	かなり良い	教育委員会
13	スクールカウンセラー等の配置	221,201	242,224	良い	教育委員会
14	不登校対策	21,706	21,261	良い	教育委員会
15	京都市青少年科学センター	380,404	393,653	良い	教育委員会
16	京都市野外教育センター奥志摩みさきの家	74,386	63,914	良い	教育委員会
17	京都市教育相談総合センター(こども相談センターバトナ)	110,413	113,642	良い	教育委員会
18	京都市野外活動施設花背山の家	270,980	249,198	普通	教育委員会
19	京都まなびの街生き方探究館	145,580	150,163	良い	教育委員会
20	学校図書館運営支援員配置事業	52,659	54,698	—	教育委員会

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- 全国学力・学習状況調査等の分析システムの試行をするなど、「京都市学習支援プログラム」をはじめとする自学自習の習慣化や学力の定着・向上を目指す「京まなびプロジェクト」を推進することで、児童・生徒一人一人の学習状況や課題を把握し、小中学校で連携を図りながら確かな学力の向上を目指していく。
- 京都府警察本部との連携及び各校に対する積極的な実施の呼び掛けにより、全小学校・中学校・高等学校での非行防止教室の実施を継続するなど、子どもの規範意識を育むための取組を推進する。
- 子どもたちの体力が長期的に低下しているとともに、運動する子としない子の体力差が生まれている。このような課題を克服するため、運動部活動等をはじめとする学校での体育的な活動の充実に取り組み、子どもたちの体力向上を図る。
- 平成24年度に作成した「京都市防災教育スタンダード」を活用しながら、各学校・幼稚園の防災マニュアルの更なる見直しを行うとともに、危機に際して自らの命を守る「主体的に行動する態度」を育成するための防災教育を推進する。
- 今後、就学支援シートの活用や、LD等通級指導教室の設置拡大等により、通級による専門的な指導を受けることのできる児童生徒数を増加させる。

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進
-----	------	----------------------

指標名	学力向上を支える京都市学習支援プログラムに対する児童生徒のアンケート（3・4段階評価で概ね満足とした割合）評価値（%）	
-----	---	--

担当課	学校指導課	連絡先	222-3801
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

京都市学習支援プログラム（小学校：ジョイントプログラム，中学校：学習確認プログラム）の内容について児童生徒を対象に行う3段階評価及び4段階評価によるアンケート調査の評価値

### 2 指標の意味

生きる力の一つである確かな学力を育む教育の推進状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：京都市学習支援プログラムについての児童生徒に対するアンケート  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	76.6	77.9	1.3ポイント増	100	全ての児童生徒がアンケートで概ね満足であると評価する内容を目指す。	77.9%

数値	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

### 6 基準説明

目標はあくまで全ての児童生徒が満足と感じること（100%）であるが、80%を達成すれば概ね達成したと評価することができると考えたため、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

24	25	26
b	b	b

指標名	非行防止教室の実施率（%）	
-----	---------------	--

担当課	生徒指導課	連絡先	213-5622
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

各年度に非行防止教室を実施した学校の全市立小・中・高等学校に占める割合

### 2 指標の意味

生きる力の一つである規範意識を育む教育の推進状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：「非行防止教室実施校数」÷「京都市立小・中・高等学校数（休校除く）」  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	100.0	100.0	増減なし	70.0	平成27年度までに全市立小・中・高等学校で実施するために、当該年度に達成すべき割合	142.9%

数値	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
		100%	27年度	100.0%	全市立小・中・高等学校での実施	

### 5 評価基準

単年度目標に対する達成度が  
a：100%  
b：90%以上100%未満  
c：80%以上90%未満  
d：70%以上80%未満  
e：70%未満

### 6 基準説明

100%をa、以下10%刻みで基準を設定した。

### 7 評価結果

24	25	26
a	a	a

施策名	1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進									
指標名	新体力テストの結果（項目数）										
担当課	体育健康教育室		連絡先	708-5322							
<b>1 指標の説明</b>											
毎年本市において小学2年生・5年生及び中学2年生に対して実施する体力・運動能力調査の結果が過去10年間の平均値を上回る項目数											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
生きる力の一つである健やかな体を育む教育の推進状況を示す指標			出典：京都市立学校児童・生徒 新体力テスト結果報告書								
<b>4 数値</b>											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度					
数値	28	27	1項目減	31	48項目の7割の項目数	87.1%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度		根拠					
数値											
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>						
48項目中、過去10年間の平均値と比べ、向上した項目数が a：31～48項目 b：21～30項目 c：11～20項目 d：1～10項目 e：0項目			過去10年間の平均値と最新数値を比べ、 ①体力・能力数値に際限があること ②テストを受ける対象・人数が毎年変わることの理由により、全体の項目数の約7割以上の項目数を上回ればa、1項目も上回らなかった場合をeとし、その間のb c dを10項目ずつで按分した。		<table border="1"> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> </table>	24	25	26	b	b	b
24	25	26									
b	b	b									
<b>指標名</b> 通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数（人）											
担当課	総合育成支援課		連絡先	352-2285							
<b>1 指標の説明</b>											
LD等通級指導教室の設置拡大等により、通級による専門的な指導を受けることのできるLD等の発達障害のある児童生徒数 ※LD等の発達障害…学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症（アスペルガー症候群含む）を指す。											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
発達障害のある児童生徒に生きる力を育む教育の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度					
数値	414	429	15人増	374	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成するべき数値	114.7%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度		根拠					
数値		500	32年度	85.8%	22年度設置校数及び指導人数から、ことばときこえの教室の併用化、LD等非常勤講師の活用及び国からの教員定数加配等の予定を勘案して算出						
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>						
目標値に対する達成度が a：70%以上 b：50%以上～70%未満 c：30%以上～50%未満 d：10%以上～30%未満 e：10%未満			国からの通級指導に対する教員定数加配に大きく左右されるため、70%以上でa、以下20%刻みで設定。		<table border="1"> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>	24	25	26	a	a	a
24	25	26									
a	a	a									